



我妻とくお議会レポート

No. 60

我妻徳雄事務所

米沢市大字口田沢1308-2

TEL. FAX 0238-31-2212

メール waga1308@ms3.omn.ne.jp

ゆきしろ

12月議会

12月定例会（議会）では、「米沢市健康長寿のまちづくり推進条例」「会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」「置賜総合文化センターの指定管理者の指定」や、「一般会計補正予算」などの23議案を原案通り可決しました。

産業建設常任委員会、予算委員会で「市営住宅の長寿命化計画策定」「大規模降雨災害が予想される場合の綱木ダム、水窪ダムの対応」「パソコン、ハードディスクの廃棄方法（情報管理）」などについて質問しました。

激甚化する大規模自然災害に備えて

緊急時のダムの洪水調整は

「とくお」台風や集中豪雨などの自然災害が頻発・激甚化しています。甚大な被害が発生した昨年の台風19号では、関東を中心に6基のダムで緊急放流（ダムへの流入量と放流量を同程度とする異常洪水時防災操作）が行われました。また、146基のダムで事前放流などの洪水調整を行い下流域の浸水被害の軽減を図っています。

緊急放流が行われると下流で氾濫する恐れがあります。それを防ぐために、ダムの水位を事前に下げ、事前放流が有効です。綱木川ダム、水窪ダムは、大規模降雨災害時に事前放流を行うことができるのでしょうか。



「危機管理主幹」大規模な降雨災害が想定される場合、水窪ダムは貯水の時期にもよりますが、事前に放流して水位を下げて貯水機能を確保することもあります。

また、綱木川ダムは事前放流用のゲートがなく自然放流の仕組みとなっているため、事前の放流は行えません。

緊急時の住民への伝達方法は

「とくお」緊急放流等を実施する場合の下流域の住民への連絡・通達はどう行うのでしょうか。

「危機管理主幹」綱木川ダムでは、洪水調整等の放流を実施する場合は、その1時間前にサイレンやスピーカー放送などで、地域住民にお知らせします。また、同時に広報車も走らせ周知を図ります。



さらに伝達方法の検討が必要

「とくお」強風や豪雨の時に「広報車のサイレン音が聞こえなかった」などの事例が報告されています。避難指示等の連絡伝達をどのように実施するのでしょうか。

「危機管理主幹」家の中にいて雨音で聞こえない場合などについては、防災ラジオの活用も検討していきます。全国的には、SNSを活用している事例もあります。どの手法が、より効果的に住民の方々に伝えることができるかを、十分検討し今後対応していきます。

HDDは物理的破壊後に処分

「とくお」神奈川県庁で利用していたハードディスクドライブ（HDD）のデータの消去が不十分な状態で、委託業者の職員が、転売し大きな問題となりました。本市は使用済みのHDDの処分をどのように行っているでしょうか。

また、使用済みのパソコンの処分は、どのように行っているでしょうか。

「総合政策課長」情報システム担当の職員が、HDDに穴をあけ物理的に破壊し、デー



タが読み取れないようにしています。そして最終的に業者に依頼し処分をしています。パソコンは専用ソフトで、データを完全に消去し、復元できない状況にしたうえで処分しています。

市民平和クラブ視察

市民平和クラブは、11月11日～13日の日程で、管外の先進事例を視察・勉強してきました。

◆兵庫県／尼崎市

「尼崎版観光地域づくり推進事業」

◆徳島県／三好市

「オレンジカフェみよし」（認知症の方などの集まる場）

◆兵庫県／明石市

「共生のまちづくり」（すべての人が地域で安心して暮らせるまちづくり）



「防災ハザードマップ」を考える

我妻とくお 委員会質問から

米沢市では大規模自然災害に備えて、『洪水』『土砂災害』『ため池』『吾妻山火災』の各種防災ハザードマップを作成しています。いずれのハザードマップにも避難場所や、避難時の危険箇所が示されています。『洪水ハザードマップ』は、米沢市内を流れる河川が大雨によって増水しはん濫した場合に、想定される浸水の範囲と、深さが色分けで分かるようになっています。

日頃から危険個所の把握を

域が色分けで示されています。『ため池ハザードマップ』は、農業用ため池の堤防が、決壊した場合を想定しての浸水区域が示してあります。『吾妻山火山ハザードマップ』は、吾妻山が噴火した場合に、予想される火山現象の種類や噴火の規模をもとに、被害の発生が想定される区域を示しています。被害を最小限にするためには、日頃から災害リスクを認識したうえで、危険箇所や避難場所について、正確な情報を知っておくことが何より重要です。



一般質問の様子は米沢市議会のホームページから映像で見ることができます

どうだべなあ

●.....●
▼定例議会（年4回）ごとに発行してきた『ゆきしろ』も、今号で区切りの60号を迎えました▼17年目の議員活動ですから、本来ならば67号を数えていなければなりません。しかし、何らかの理由で、発行できなかったことが数回ありました。昨年の6月議会の報告は、第25回参議院議員選挙のために休刊しました▼「定例議会の都度、『ゆきしろ』を作成し、皆さんの家庭に配布させていただく」としたのは、私の選挙公約でもあり、皆さんとの約束です。引き続き果たしてまいります▼そして、フットワークを良くし、相談があればすぐに飛んで行き、共に要求し、行動し、改善する、活動の見える議員を心がけてまいります。（我妻とくお）

我妻とくおホームページ

<http://www.3omn.ne.jp/~waga1308/>

議員活動を公開